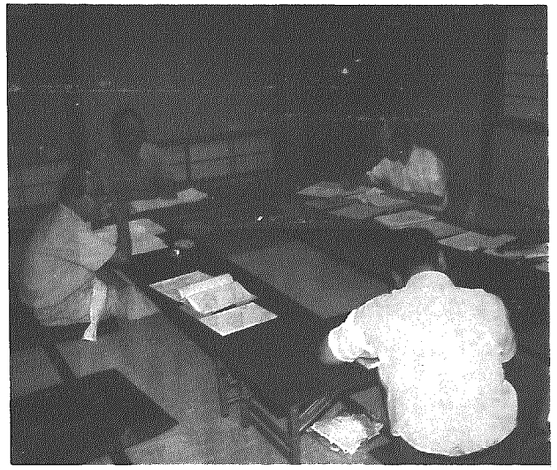
# 参加と協調の自治会を目指す
## 新田自治会検討委員会


熱心な議論をかわす検討委員会

横越新田自治会は六月現在で四百十戸となり、今後も引きつづき増加が見込まれています。

現在の組織は、村の嘱託員兼務の自治会長の下に、三地区に副会長がそれぞれ、総務・環境・衛生の各部会長を兼ね、他の役員と力を合せ隣組長の協力を得ながら、自治会運営に当たっています。一方、近年、特に役員の選任をはじめ、自治会の事業実施・嘱託業務の遂行に当たり、多くの課題をかかえており、地域公民館の人事も含めて、自治会全般の検討が求められていました。

そこで、現役員、旧役員の意見集約を行う中で、六名による検討委員会を設けて、村から二十万円の助成を受けながら当面する諸課題を精査・検討し、機能的で活力ある自治会の再構築を目指すことになりました。

検討事項としては、

㈠自治会事業の合理化
㈡村嘱託員業務の正常化
㈢役員選任方法の確立
㈣役員手当の見直し
㈤自治会費と財政の整合・健全化
㈥会則等の見直し
㈦地域公民館との連携・協調

などを予定しています。

すでに六月に発足以来、三回の会合をもち、役割の分担や意志疎通を図りながら、実質審議に入っています。

今後は、概ね月一～二回のペースで審議、検討し一年以内を目途に答申案をまとめる予定にしています。

その際、先進地調査や隣組の意向調査も行う予定です。

新田自治会では、将来五百戸～六百戸となり得ることも念頭におき、あくまでも一つの自治会として地域住民の参加と協調を促し、真の自治コミュニティの形成ができるよう努めていきたいと意志確認をしています。

**建設省道路防災訓練**
・とき　8月26日（木）午前8時30分～12時
・ところ　新潟市網川原（クロスシティ造成地内）

### 看護フォーラム・イン・ニイガタ

○とき　平成5年9月14日（火）
○ところ　オークラホテル新潟4F　末広の間
○内容　・パネルディスカッション
　・講演　作家　落合恵子氏
　テーマ　「生命（いのち）の感受性」
○主催　新潟県
○入場無料　保育ルーム（無料）あり
○参加者募集中
往復はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号・保育ルーム希望者はその旨記載して8月31日（火）までに。
〒950　新潟市新光町4－1
新潟県環境保健部医務薬事課看護係に申し込み下さい。
TEL　285―5511　内線2639

# 社会福祉法人 新潟みずほ福祉会 職員採用案内

新潟みずほ福祉会では、次のとおり平成6年度の職員を採用します。

**○勤務地**
・新潟市藤野木字川原51番地　精神薄弱者厚生施設「みのり園」
・新潟市小見郷屋107番地2　身体障害者療護施設「新潟みずほ園」
・新潟市小見郷屋字下川原58番地　身体障害者療護施設「第2みずほ園」（仮称）

三施設とも用地隣接のそれぞれ独立した施設です。

**○応募の締切**　平成5年8月31日㈫

**○採用試験日時**
・第一次試験　平成5年9月25日㈯午後1時～午後4時まで
一般教養筆記試験・作文
・第二次試験　平成5年10月下旬の予定
第一次試験合格者を対象に面接及び口答試験

**○試験会場**　新潟みずほ園

**○合格発表**　平成5年11月上旬頃、合格者に文書で通知

**○採用**　第二次試験合格者の中から平成6年6月1日付で採用。

**○募集職種**
一般事務1名、栄養士1名、調理員3名、庁務員若干名、指導員及び介護員・寮母25名、看護婦2名、理学療法士1名

※詳細については、新潟みずほ園に問い合わせ下さい。

TEL262―0044
FAX261―5483

### 新津保健所 テレホンサービス ちょっと聞いてみませんか

・サービス時間
月曜日～金曜日
午後5時～翌朝8時30分
土、日曜日、祝日は終日
・TEL　0250―22―5175

テレホンサービスの内容

| 曜日 | | テーマ |
|---|---|---|
| 8～9月 | 月 | 思春期について |
| | 火 | 母乳とふれ愛 |
| | 水 | がん予防 |
| | 木 | お年寄りの不眠 |
| 8月 | 金土日 | 子供の歯 |
| 9月 | 金土日 | キノコの食中毒予防 |



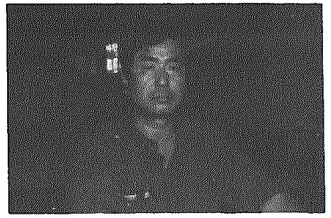
企業訪問シリーズ⑤

# 自主創造で未来に向かってチャレンジする

## 有限会社　新潟特装

横越7367番地2（横越下）

## 多業種で受注増図り 県外の進出を目指す


チャレンジ精神の旺盛な目黒社長

**〈創業は、昭和56年〉**

山二ツで法人設立と同時に創業し、平成4年1月、横越に工場、事務所を移転した。

主力商品は、舗装に関連した機械でガードレールにポールを打ちこむ機械は、新潟県内、ほとんど新潟特装が納品をしている。

また、高速道路やバイパス関連の道路作業機械も扱っている。その他、ラジコン、リモコンによる省力化機械の製作も行っている。

**〈取り巻く状況〉**

移転前は、借地であったので、立地条件と自然環境のいい中で仕事がしたいという願望があり、それがかない横越を選んだ。

仕事も順調で業種の幅が広いので好不況の波は、少ない方である。

現在は、昨年より受注も多くきている。

受注量が増えて仕事をこなせないので社員を募集中でぜひとも横越からも採用したいと言っている。

**〈21世紀に向けて〉**

今は、不景気だという感覚がないのでありがたい。

受注も業務量も今後ますます伸びていきそうだが、人員が少ないのが悩みの種。

そこで、どうしても人材確保が急務になってくる。

できれば製缶関係や機械整備を経験した人材を望んでいる。

現在、会社は、第2土曜日を休日にしているが、将来的には、第4土曜日も休日にするなどして、労働条件を整えていく予定にしている。

社長は、「うちで技術を習得したものは、どこへいっても通用する」と言い切る。

創りだした機械を売る。自分で考えて自分で創る。

このように、常に自主創造を基本理念に掲げ、将来に向けて、チャレンジすると意欲満々だ。

また、将来的には、特装メーカーとして県外の進出を目標としたいと夢もふくらむ。

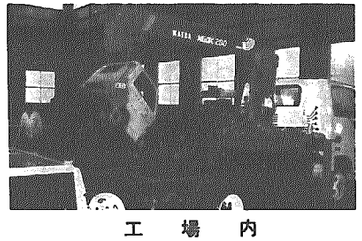
社長は、「物生建立」という言葉が好きだ。この言葉のもつ意味は、物を生かせば、建物が立つと言う意味だそうで非常に気にいっている。

**■主な取引先**
・トラック関係ディーラー
・特装メーカー
・道路関係会社
・林業関係

広々とした事務所内

### ●会社の概要

| | |
|---|---|
| 創業及び法人設立 | 昭和56年9月 |
| 資本金 | 3百万円 |
| 年商 | 1億円 |
| 社員数 | 6名（横越在住0名） |
| 営業品目 | 各種特装車<br>産業機械<br>設計・製造<br>メンテナンス |


工場内